



本田の温かい心

生活指導主任 樋口 かおる

春に児童アンケートを実施しました。「自分勝手なことをせず、相手の気持ちを考えて行動していますか」という問いに対して、「そう思う」が92%、「ややそう思う」が8%でした。「あまり思わない」「思わない」とした子はいませんでした。とてもうれしい結果でした。

ところが、別の学校生活アンケートを実施したところ、「いやなことを言われたことがある。」「無視されたことがある。」などの記述が、少なからず見られました。「自分は、人を傷つけることなんてしていない。するわけない。」と思っているのかもしれませんが、日々の生活の中で、自分では気付かないうちに相手を傷つけていることもあるものです。

そこで、本田小学校では、相手の気持ちを考えられる子、思いやりの心で助け合う子の育成に向け、具体的な場面を通しての指導を行っています。以下は、その一部です。

各月の生活指導・・・どう行動したらよいかを考え、全校で生活目標を意識した生活をする。

6月の生活目標

[ふわふわ言葉を使って、気持ちよくすごそう]

「ドッジボールをしようよ。」と誘われたら...

A:「誘ってくれてありがとう。でも、ごめんね。先生に用事を頼まれているんだ。」

B:「え!、無理!」

どちらの断り方が良いのかを考え、丁寧な言葉遣いをしてお互いに気持ちよく過ごしていこう

9月の生活目標

[相手の立場や気持ちを考えて行動しよう]

自分の話を聞いている相手の様子は?

笑顔 うなずいている→OKサイン

イライラしている →NGサイン

下を向いている →NGサイン

NGサイン等から相手の気持ちを考え、話の内容を変えるなど行動を変えていこう

スマイル班の活動・・・異学年交流での役割を果たす中で助け合いが生まれる。

[全校遠足]

初めてのグラウンドゴルフ

6年生が班長として、初めて体験する低学年の子に優しく教えていました。

温かい雰囲気の中、楽しい活動ができました。



[花壇の世話]

子どもたちは、昨年度までの先輩の様子を見て学んできました。

下学年の子の足にかかった土を上学年の子が払ったり、「最後にこの土をかけるんだよ。」と優しくやり方を教えたりする姿も見られました。



このような日々の取組の中で、子どもたちは、相手の気持ちを考え対処の仕方を学び、相手と心を通わせた、よりよい人間関係を築いていきます。

温かい心をもった子どもたちばかりですが、時には、「えっ。そんな言葉を使って・・・」と思うことがあるかもしれませんが、そんなときには、学校でも家庭・地域でも声をかけ(いいねと思うことは誉め)、温かく支えていきたいと思えます。皆様のご協力をお願いいたします。

本田フェスティバル



1年「大きなかぶ(劇)」

10月26日(土)、本田フェスティバルを行いました。

学習発表会では、各学年が各教科や総合的な学習の時間に学習したことをステージで発表しました。劇やダンス、そして和太鼓演奏で、自分たちの思いを力強く伝えることができました。



「ふるさとカルタ」



2年 町探検&ダンス

「地域の名人を学ぼう!」では、和太鼓&本田祭りのお囃子、紙の傘・こま作り、マジック、茶道、何でも動物こけ玉づくり、親子ですっきりストレッチヨガ、ふるさとカルタ、木工ペン立て作り、スポーツチャンバラの9つの体験コーナーを設けました。地域の先生から、本田の伝統や文化、技能をたくさん学ぶことができました。



「親子ですっきりストレッチヨガ」

たくさんの方からのご協力をいただき、学校・保護者・地域が一体となった教育活動を行うことができました。本当にありがとうございました。



6年「平成をふり返ろう」



3・4年合唱奏「風になりたい」



5年「宝来太鼓 2019」

ステージから、みんなの音をとどけることができた!



11月7日、新発田市民文化会館で音楽交歓会が行われました。3・4年生が、合唱奏「風になりたい」を発表してきました。聞く人の心に響くすてきな音楽でした。

3・4年生は9月から休み時間や放課後なども使って練習してきました。みんなで心をつなぐ合わせようとする思いが練習する毎に強くなり、本番では、1番よい演奏ができました。いろいろなことを学び、そして、大きく成長することができました。

